



歐米局

第二課長 齋藤

昭和七年八月廿五日 接

昭和七年七月二十五日

臺灣總督官房調査課



外務省歐米局 御 中

調第一二三〇號

歐洲地方制度ニ關スル件

拜啓 調査上必要有之候ニ付歐洲大戰後ニ於ケル戰勝國新領土地方制度左記記載ノ事項ニ就キ御回答稍煩度此段及御依頼候也

記

一、地方理事機關（例ヘバ本邦ノ知事、郡長、市町村長ノ如キモノ）

イ、選任方法

ロ、有給名譽職別

ハ、任期

臺灣總督府

三、地方議會

イ、權能

ロ、議長

ハ、議員

選任方法 有給名譽職別 任期

三、參事會

四、公民

五、地方機關ノ法律上ノ地位

臺灣總督府

文書課長  
公 信 案

文書課發送

昭和七年八月五日

發送済

淨書

正校(原稿)

(封)

(淨書)

(印)

(甲號用紙)

主

管

任

主 任 官 長 (起草大正七年八月三日)

改二 普通 第三二八

號 大正 昭和七年八月四日 附

附屬書 一通

第一課長

受信 人名

河田 拓務 次官

發信 人名

有田 忠 次

件名 歐洲地方制度ニ関スル件

名 込 綴

本件ニ関シ其事情係督官房調査課ヨリ有知取米  
向死別紙字ノ通 申越 せる事 本件調査ノ必要ニ左記  
諸項 兼知 致度キニ付 同 總督 府 長 官 官 房 長 官 官 房 長 官 官 房 長 官  
外 務 省

河田首相致度

記

歐洲ニ於テ

一、本件致度係主ト歐洲大政協新ニ領土ヲ増加せん  
諸事例ヘハ佛、伊、白等ヲ指サスモト 認 たるル事  
右ノ外例ハ希、四、羅、乃至ハ「エーゴースラビヤ」ノ如キヲ  
モ含マシムル 趣 旨ナリヤ 具体的ニ本件調査ヲ  
希望セラルル 口 名 指 摘 相 成 表

公 信 案

外 務 省



- 一、調査地名 佛領アルサスローレンヌ、伊領チロール、日領オイベン、丁領北シユレルウイツヒ、ユーゴースラビヤ領タルマチヤ
- 委任統治領 メソポタミヤ（英）、シリア（佛）、舊獨領東アフリカ（英）、舊獨領南西アフリカ（南阿聯邦）
- 三、地方機關ノ法律上ノ地位トハ該機關カ法人ナリヤ否ヤヲ意味ス

拓務省

寫

✓ 訂正了  
（九月七日迄）

歐二普通合第九三七號

昭和七年九月七日

外務大臣伯計内 田 康 哉

在英 松平大使 在瑞典 武者小路公使

在佛 長岡大使 在羅 藤田公使

✓ 在伊 岡本代理太使 ✓ 在白 佐藤大使

大戦後ノ新領土及委任統治區域ニ於ケル地方制度

取調方ニ關スル件

臺灣總督官房調査課ヨリ臺灣地方制度改正上ノ参考資料ニ供シタキ  
題ヲ以テ左記(甲)所掲ノ地方ニ於ケル左記(乙)記載ノ事項調査方依頼趣  
シタルニ付責任 國ノ分ニ付當該事項取調ノ上御回報相成度  
(※ 附表ニ表上同)

外務省

(甲) 調査地方  
 佛領「アルサスロレーヌ」、伊領「サロール」、白領「キイバ  
 ン」、丁領北「シユレスウイツヒ」、「ニールゴイスラビヤ」領「  
 ダルマチヤ」  
 委任統治領「メソポタミア」(英)、「メリア」(佛)、舊獨領東「アマ  
 リカ」(英)、舊獨領南西「アメリカ」(南阿聯邦)

(乙) 調査事項  
 一、地方理事機關(例へば本邦ノ知事、郡長、市町村長ノ如キモノ)  
 イ、選任方法  
 ロ、有給名譽職別  
 ハ、任期

外務省

一、地方議會  
 イ、権能  
 ロ、議長  
 ハ、議員 選任方法、有給名譽職別、任期  
 ニ、評議會  
 ホ、公民

一、地方機關ノ法律上ノ地位(法人ナリヤ否ヤラ意味ス)

以上

外務省

文書課長 (實) 公 信 案

文書課發給 昭和七年

主任 藤田大正 (起草大正七年九月三日)

九三三號 大正 昭和七年九月七日 附 附屬書

受領 在英 松平右使 長岡右使 國本代理右使 佐藤右使 武蔵中務右使 藤田右使 各通

件名 大政檢査新設及委任統治区域ニ於ケル 地方制度取調方ニ関スル件

名 込 綴 人名 發信 内田大正

其情總智之官房調査課ヨリ其情地方制度改正  
上ノ参考資料ニ供シタキ趣ヲ以テ左記(甲)所掲ノ地方  
ニ於ケル左記(乙)記載ノ事項ニ着目シテ其知レタキ中

ノ事ヲ着目シテ其知レタキ中  
在瑞豊及至那馬尼公使此ノ分ニ「其業任  
口トスル」ノ分存者該ノ項所調ノ上即同被相成度

記

(甲) 調査地方

佛領「アルサスローレンヌ」 伊領「カロール」 白領「カイマン」  
丁領北「ニエレウツヒ」 「エゴースラビヤ」 領「カラムチヤ」

委任統治領 「マツポタニヤ」 (英) 「コリア」 (佛) 舊領

公 信 案

外 務 省

公 信 案	四 公 民	三 参 事 会	公 議 員	口 議 長	人 権 能	三 地 方 議 會	八 任 期
外 務 省			選 任 方 法、 有 給 和 職 別、 任 期				

公 信 案	口 有 給 和 職 別	一 選 任 方 法	七 ノ	一 地 方 理 事 機 関 (例 ハ 市 長 知 事、 郡 長、 市 町 村 長、 知 事)	(乙) 調 査 事 項	那	欲 東 ア フリ カ 連、 旧 独 領 南 西 ア フリ カ (南 阿 州)
外 務 省							





公  
信  
案

外  
務  
省

五、地方機関の法律上の地位

(法人ナリヤ否ヤ)

ヲ意味ス

以上

歐米局

第二課 總務

昭和七年十一月九日 接獲

羅公普普通第一七四号

昭和七年十月十一日

左羅馬尼

特命全權公使 藤田 昌介

外務大臣伯島計内田兼敬啟

大戦後ノ新領土ニ於テ地方制度取調方ニ關スル件

本件ニ關シ客月七日附政ニ普通適合第九三七号ノ貴信ヲ以テ  
付申越ノ趣致承然ニ処「タルマリア」地方ハ「オースタリ」ノ  
領土タリレ時代ニ或程度ノ自治権ヲ認メテ特別行政區域ヲ  
シメ由テカ内戦後「ユーゴスラヴィア」國ノ領土ニ編入セラレタルニ  
末右自治制度ハ全然消滅シ殊ニ一九三一年九月三日ノ

在ルーマニア日本公使館

新憲法(案)九月十六日附羅公普普通第一七三号ヲ以テ  
佛款全文送付シタリハ地方制度ニ關シ劃一主義ヲ採  
用シ全國ヲ九縣 (banovines) ニ分ケ(首府ベルグラード)ハ特  
別行政區域トセラル(各縣ニ官吏タル知事 (Bane) ヲ置キ  
縣公 (Conseil de banovine) 及縣長官會 (Comité de ban-  
ovine) ヲ設ケル等普通文明國ニ行ハル地方自治制度ヲ  
採用シ居リ(前領土ノ格ハナシ)以下第九十九号參照)  
問題ノ「タルマリア」地方(「アドリア」海ニ面スル带状ノ地帯)ハ現  
今ニ於テ其ノ「西」部ハ「リト」縣ノ一部トシ「東」部ハ「東」部  
ハ「セ」縣ノ一部トシ居リ独立セル行政區劃トサヘテ居  
ラス「タルマリア」地方地名ハ「モンテネグロ」又ハ「ヘルツェゴヴィナ」  
等ノ地名ト同ジク單ニ歴史的名称乃至俗稱トシテ存  
在セルニ過ヤズ徒テ御申越ノ如キ目的ノ爲メ考治資料ニ

在ルーマニア日本公使館

ナラサレト思科ス  
右回答申進ス

在ルーマニア日本公使館

外務省  
分付一七二號

第二課長 關野

昭和七年三月廿日 接受

昭和七年十月十九日

左伊

臨時代理大使 岡本武三

外務大臣伯爵内田康哉殿

大抵後伊予新領土南ノ十口止ニ於ケル地方制度ニ關スル件

本件圖ニ九月七日附改ニ普通適合ノ九三七號貴信係未示ノ趣故兼  
然並新領土南ノ十口止(現在ウヰネキナトリノ十州)ノ地方制度ハ  
伊予本土内他ノ一般地方ニ於ケルト全ク公ニシテ何等特異ノ制度ヲ存セ  
其旨右條陳ノ兼在改ニ本件内原ニ對シテ伊予外務省圖表字號並  
在添此段報告申進ス

任伊日本大使館

Ministero degli Affari Esteri  
Direzione Generale Affari Politici  
Ufficio IV°  
231871 / 22

NOTE VERBALE

Le Ministère Royal des Affaires Etrangères se référant  
à la Note Verbale N. 261 du 7 octobre d. p. de l'Ambassade  
Impériale du Japon, a l'honneur de lui communiquer que l'Ad-  
ministration des Provinces de la Vénétie Tridentine est  
identique à celle des autres Provinces du Royaume.

Rome, le 21 ott. 1932 Anno X  
(Bollo del Ministero)

A L'AMBASSADE IMPERIALE DU JAPON  
ROME

第一課長



文書課長



文書課發送

昭和七年十月廿六日發送済

淨書 (内)

正校 (原稿)

(淨書)

昭和七年十一月二日起草

主管

了

主任

昭

第二編

普通

第五

號

昭

和

七

年

十

月

廿

参

日

日附

附屬

受信人名

河田 拓務 次官

發信人名 記録名

有田 次官

件名

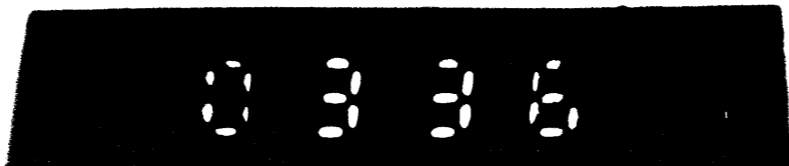
大政協の新設上及委任統治區域ニ於ル地方制及ニ關スル件  
先般甚厚始智官房調査課ヨリ調査方依頼越

公 信 案

シタル案件ニ關シテハ、本年九月一日附著信管一第三九

外 務 省

別紙



十月十日  
拓務省管理局長 宛  
字二部宛送付  
御返答相煩度此致

○號ノ二ニ以テ所因示ノ次第アリスニ依リ夫々同僚  
駐劄公使宛宛調査方針相成見多分般在留  
藤田公使並ニ任伊國本以理右使ナリ夫々別紙字一用報  
申越セルニ任在字二部宛ニ送付スルニ至ル所智財總へ轉  
達可也所計相成度

○如ク藤田公使並ニ任伊國本以理右使ナリ夫々別紙字一用報  
申越セルニ任在字二部宛ニ送付スルニ至ル所智財總へ轉  
達可也所計相成度

字二部宛送付  
御返答相煩度此致

公 信 案

外 務 省

歐米局

第三課長

昭和八年 壹月廿四日 接受  
マイブライター用紙美製

管一第三九〇號

昭和八年一月二十三日

拓務省管理局長 生 駒 高 常



外務省歐米局長 松 島 肇 殿

歐洲地方制度ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ各年十二月二十三日附歐二普通第五四二號ヲ以テ御回答ノ趣早速臺灣總督府へ移報致候處今回同付ヨリ重ネテ依頼越候條義ニ御回答ノ分以外ニ付可成至急御回答相煩度此致及依頼候也

拓 務 省

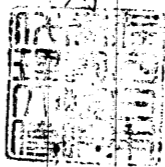
普通第三〇号

昭和八年二月廿八日

在白耳義國

臨時代理大使

山形 清



外務大臣 伯爵 内田康哉 殿

大戦後ノ此領土及委任統治区域ニ於テハ地方自治取調ニ  
関スル件

本件ニ関シ密年九月七日附政ニ普通令第九三七号ヲ以テ市訓令  
ノ次第敬承 依テ「オイニ」ニ關スル分左ノ通 報告申進ス 可

然レ取計相次度

一 序言

大戦ノ結果白國ガ取得セル地域ハ「オイニ」(Euphon)「マルメター」  
(Malmedy)「サン・ヴィット」(Saint-Vith)ノ三地方ナルガ白國ハ之ニ  
對シテ同一ノ統治組織ヲ採用セリ  
「オイニ」地方ハ一九二五年三月六日法律、同年十月四日勅令及一九  
二六年八月廿八日勅令ヲ以テ之ヲ「カント」(Canton)「カニジ」トハ數個ノ  
十町村 (petite communes) ヲ一團トセル便宜上ノ名稱ニシテ行政上ノ區  
劃ニ非ズ)トシ九町村ニ分ケ「リエ」州ニ編入スルト共ニ白國憲  
法、法律並ニ右ニ關スル命令規程等ヲ全部適用スル事トセリ  
但一九二五年十月四日勅令中ノ各地方特有ノ事情ニ關スル除外規定  
残存ス  
右ノ如ク「オイニ」地方制度ハ殆ト全部白國一般地方制度ト異ル

CII

本十又参考ノ為左記各項目ニ付記述ス(シ)

(一) 調査事項

一、地方理事機関 (Le Bourgmestre de la commune)

1. 選任方法 國王ノ任命

2. 有給否 有給

3. 任期 六年、但 Le secrétaire de la commune (文

書ノ作成ヲ主務トスルモノニテ恩給年限ニ達スル迄

罷免スルヲ得ズ) 兼任ヲ全地方ニ限リ許サレ右

ノ場合ニハ任期ノ制限ナシ

二、地方議會 (Le conseil communal)

1. 機能

(A) 町村ノ利害關係ヲ有スル總テノ事項ノ管轄

(B) 上級官庁ノ委任セラルル問題ノ決定

(C) 町村ニ關スル立法權

CII

四、議長

町村長 (Le Bourgmestre) 之ニ當ル、發言權ヲ有ス

五、議員

普通選挙 (女ニモ選挙權アリ)、會期毎ニ年々

ヲ復シ、任期六年

三、評議會 (Le college scolaire)

町村長 (議長トナル) 及町村ノ人口ニ應ジ其數ヲ

増加スル數如クノ會員 (membres) コリ双ル、會員

ハ地方議會 (Le conseil communal) 員ノ互選ニ

依リ選出セラル、任期六年、

評議會ハ町村行政ヲ管轄スル機關ニシテ町村

事務ヲ監督スルト共ニ法律命令規則ノ施行

ニ當ル

四、公民

「ジュエルサイユ」條約第三十六條ニ依リ此ニ白國々

CII



籍ヲ取得シ且一九〇四年一月一日以前ニ生レタル  
者ニ対スル兵役義務ノ免除ニ因スル例分ヲ淳  
キ他地方一般公民ト同一ノ権利義務ヲ有ス  
五、地方機関ノ法律上ノ地位  
公法人

CII

第一  
部

文書課長

文書課發送 昭和八年三月廿七日發送済

淨書八本

正校(原稿)

(淨書)

主 管 歐米局長

主 任 長

昭和八年三月廿七日

日附 附屬

25 47

政 二 普通 第 五 號

昭和八年三月廿七日

日附 附屬

受 信 人 名

何日振務官

發 信 人 名 記 録 件 名

有田信二

件 名

大牧場ノ新領土及委任統治區域ニ於ケル地方制及ニ關スル件

昭和八年三月三日附政二普通第五四二号ニ因シ

今般在白山形代理大決リ別紙字通(南)報告越セル存

外 務 省

右字二部送ニ送付ス甚遺憾智府(轉達方)

可也所計 折込及

(外) 白山形代理大決リ三月廿八日附三〇号字二部

作(添附下)

公 信 案

外 務 省